



椿貞雄《赤富士図》昭和15(1940)年

第11回船橋市所蔵作品展 船橋時代の椿貞雄とコントン会の仲間たち

会期／平成29年12月12日(火)～12月17日(日)

開館時間／午前10時00分～午後6時30分

会場／船橋市民ギャラリー (第1ホール・第2展示室)

入場無料

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

「船橋時代の椿貞雄」

12月17日(日) 午後2時00分～午後3時00分

参加費 無料

申し込み不要。当日、会場にお集まり下さい。



●JR船橋駅から徒歩約7分 ●京成船橋駅から徒歩約5分

主催／公益財団法人 船橋市文化・スポーツ公社

共催／船橋市教育委員会

後援／船橋市

船橋市民ギャラリー

船橋市本町2-1-1 スクエア21ビル3階

Tel. 047(420)2111

<http://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>

第11回船橋市所蔵作品展

船橋時代の椿貞雄とコントン会の仲間たち

現在、船橋市が所蔵している美術作品は約 500 点になります。

清川コレクションはその中心的存在です。この作品群は清川記念館より平成 11（1999）年および 12（2000）年に船橋市に寄贈されました。それは所蔵者の清川尚道氏の「船橋市と市民の文化の発展のために」という強い思いを反映したものでした。

清川尚道氏は学生のころ、船橋町立小学校（現・市立船橋小学校）の図画代用教員となった椿貞雄を絵の師として仰ぎ、制作に励みました。家業の病院（清川病院）を継いだ後は、画家・椿貞雄の支援者となり、船橋市の文化活動に指導的立場で関わっていきました。そのなかにコントン会の活動があります。

コントン会とは昭和 28（1953）年、当時の中央公民館の成人学校デッサン科から生まれた文化サークルです。洋画の研究会として、毎週月・木曜日に中央公民館でデッサン会を開催し、スケッチ旅行や展覧会も行いました。清川尚道氏は会長として、椿貞雄は顧問として会の運営に尽力し、そこには市内外から多くの美術を愛好する人々が集いました。

本展覧会では、船橋市所蔵作品の中から、椿貞雄が船橋市で活動した時期（大正 15 年～昭和 32 年）に制作した作品を紹介するとともに、同じ時代に活躍したコントン会ゆかりの画家（渡辺正太郎、立石秀春、大田歳）、そして、椿貞雄の周辺にいた人々（奥主青湖、清水光子）の作品を紹介します。

これらの作品から戦前・戦後の船橋市における美術活動の一端をご覧いただければと思います。



左／椿貞雄 船橋の自宅のアトリエにて昭和 31（1956）年撮影
右／椿貞雄「船橋観光協会ポスター」昭和 13（1938）年頃



清川コレクション

代々医業を営んできた清川家が収集・保存してきたもので、平成 11（1999）年および 12（2000）年、船橋ゆかりの画家の椿貞雄をはじめ著名な作者の作品 184 点が市に寄贈されました。

椿貞雄

明治 29 年 - 昭和 32 年（1896 - 1957）

画家。山形県米沢市生まれ。絵の道においては岸田劉生から、思想や人生観においては白樺派の武者小路実篤、長與善郎らから強い影響を受けました。大正 15（1926）年に船橋町立小学校（現・市立船橋小学校）の図画教員となったことをきっかけに、昭和 2（1927）年に船橋へ居を移し、昭和 32（1957）年に 61 歳で死去するまで船橋に居住しました。

コントン会

昭和 28（1953）年に船橋市中央公民館の成人学校デッサン科から生まれた文化サークル。清川尚道氏が会長を務め、椿貞雄が顧問を務めました。洋画家では、渡辺正太郎、日本画家では立石秀春、大田歳、工芸家は猪俣伊治郎、俳句では柏崎夢香など市内の文化人が一同に会しました。

船橋市民ギャラリー

船橋市本町 2-1-1 スクエア 21ビル 3 階
Tel. 047 (420) 2111
<http://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>